



よろしくお願ひします

松南地区町会連合会長

中田 清和



この度、平成29年度松南地区町会連合会長をお受けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ベテランの川窪前町会連合会長の後を引き継ぐということと、プレッシャーを感じております。私なりに松南地区の方々を手を携えつつ、皆様の意見を吸い上げ、一歩でも二歩でも前進させたいと思います。

連合町会長の仕事のひとつに

は地域づくりセンター、地区公民館と各町会、福祉ひろばや各団体、協議会を繋げる潤滑油になればいいと思います。現在、月一回開催されている松南地区地域づくり推進協議会を、更に充実していきたいと思っております。これからの松南地区全体は道路や建物等近代化の波が必ず押し寄せてくるでしょう。しかし人と人、町会と町会、行政と町会との絆が薄れて行く事だけは止めなければなりません。すぐには完成しないけれど、宮田前踏切の立体化にもなう道路環境の変化、松本市の施策で南松本駅前周辺を中心とした「中核都市構想」の中では道路や建物、住宅などで近代化された街並みになり、素晴らしい松南地区になると思います。

そんな環境にあっても老若男女の心の拠り所、「なんぶ未来まつり」は継続し、楽しいお祭りにしなければなりません。皆が集う場所、祭りを作り上げるエネルギー、それこそが絆づくりという事に他なりません。ひろばまつり、社協のふれあいまつり、松南地区文化祭など、楽しくて心揺さぶる事は多い方がいいですね。それから包括ケアシステムですが、松南地区全体で見守りケアシステムを少しでも前へ進めていかなければなりません。できることから一寸ずつですかね。万が一災害が起きた時の避難所に指定されている開明小学校、南部体育館への松南地区全体の避難訓練、避難所準備運営委員会の開催など課題は盛り沢山です。色々希望を並べてみました。実行には皆様方との話し合いを重ねるなど地味な努力が必要ですが、皆様方のご協力も必要になります。微力ながら人と人を繋ぐ役目に徹し、それぞれの意見を聞き、松南地区の為に努力致す所存です。どうか皆様宜しくお願ひします。

平成29年度 町会長・町内公民館長・館報編集委員の方々

◎・・・代表者 ○・・・副代表者

町会	町会長	役職分担	町内公民館長	館報編集委員
南松本1丁目	◎中田 清和	町会連合会 (長) 社会福祉協議会	○中田 清和	中田 清和
南松本2丁目	犬塚 義浩	環境衛生協議会	中島 久よ	志賀 幸子
双葉町	中山 昭	未来まつり実行委員 ひろば推進協議会	白澤 幸男	白澤 幸男
双葉西	中野 豊	松南地区防災会	藤森 俊男	山本 律子
双葉南	小峰 國喜	緑化推進協議会 花いっぱいにする会	横川士野江	伊藤 和彦 横川士野江
芳野町	矢ヶ崎幸一	町会連合会会計 未来まつり事務局	◎百瀬 壽	○百瀬 壽
宮田東	伊藤 保男	松南地区体育協会	松沢 啓二	松沢 啓二
宮田中	○土崎 紘子	町会連合会 (副) 明るい選挙推進協	蒲谷 徳也	田中 紀彦
宮田西	岡田 省一	南松本防犯協会	原田 次雄	◎塩原 保彦 高橋 愛子

早く慣れ、がんばります

公民館主事

藤井 勇太

4月より松南地区公民館主事としてお世話になっております藤井勇太と申します。

公民館業務は初めてで分からない事はありますが、早く仕事に慣れ、少しでも早く地域に溶け込みたいと感じております。地域の方々と接しながら、地域づくり、地域活動のお役にたてるように頑張りますので宜しくお願ひいたします。

3名の新町会長さん紹介



宮田西町会長 岡田 省一

新任の町会長の岡田省一さんを紹介いたします。

長年交通安全協会宮田西分会代表として、松南地区の会計もされていたので、顔見知りの方も多いと思います。少子高齢化の町会の福祉向上に新しい風を吹き込んで頂けると期待しています。

(高橋愛子)



宮田中町会長 土崎 紘子

民生児童委員の仕事を四期十二年を終え、ゆるりとした生活を考えておりましたが、川井町会長が体調不良で次期は辞退するという意思を伝えられ、自信もないままに、本年度の宮田中町会長をお受けしました。民生委員出身者として、福祉で培った諸々を町会運営に生かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



双葉南町会長 小峰 國喜

半世紀ぶりの帰郷ですが松本もすっかり都会並みにビル化が進み、私が過ごした18年とは変わってしまいました。町会内での人との交流や行事等も昔と変わりましたが、昔と今の良さを生かし、先輩の皆様が守ってこられた町会のみとまりを大切に、役員の皆様と共に世話役に徹したいと思っております。

なんなんひろばから

なんなんひろばの、公民館・図書館に勤める新任の職員を紹介します。



【公民館】村瀬 アダム・トミタカ 藤井 勇太 【図書館】福沢 章子 松下 春華

炊き出しボランティア『みらい』②

代表 浅田修吉さん

64号では昨年4月に起きた熊本地震の被災地での炊き出しの様子を紹介しました。今回は、昨年9月に岩手県岩泉町で起きた水害の炊き出しボランティアを行った際の報告をしていただきました。

熊本で食中毒が発生し、これがきっかけとなり、炊き出しは悪魔にでもとりつかれたように難航しました。熊本の二回目の五月は、行政より炊き出しが禁止されてしまいました。そのため、炊き出しが禁止されていない場所を捜しての炊き出しでした。七月の三回目も同様で、現在もこの状態は続いています。

岩手県の台風被災地では

十月、十一月に岩手県岩泉町で炊き出しを行いました。お年寄りの多い百人程の避難所でした。ここでの活動に対しては、ボランティアセンターからファックスがあり、その内容は①「炊き出し経験は何年か」、②「今までに何回炊き出しをしましたか」といったものです。ボランティアセンターは得体の知れない炊き出しをシャットアウトしているかのようでした。

被災者の方々はいつでも来てほしいのに、その間には行政の大きな壁があります。どうでしょうか。受け入れ側が良くわかるようにするためには、県や市町村単位で「推薦ボランティア」のようなものを出せば、優先順位もつけやすくなると思います。私もそろそろ引退を考えると、年になってきました。若く活きの良い人がいないかと思っています。しかし、中途半端じゃ渡すに渡せません。前途多難です。



熊本地震支援金は目標額に達し、岩手県岩泉町での炊き出しも行えました。ありがとうございました。

松本住民になり十年余り、今回この様なテーマに参加出来た事に感謝し、自分を見つめ直す機会を得ました。

正直な所、市の「公民館報」は、今までサッと目を通し、大切なことはないかを見ただけでしたが、その裏で沢山の人のつながりがある事を知り、改めて大変さを感じます。

今、現在までの生活が一杯で周りの人達とのつながりを保ちつつ暮らし、楽しい事嬉しい事、切ない事等、様々な経験があり、後悔もありの人生……また新たに直直つづつくり歩いて行けたらいいかなあと考えます。

皆様の力になればそれ以上に嬉しい事はありません。

震度5の地震の時は、怖い思いをしました。気が良くなる住みやすい土地柄で、ゆつたりとした気持ちで生活が出来ることはとても幸福です。

役員を任せられた以上、努力していきたく思いますので、宜しくお願いたします。

横川 士野江

コラム松南

松本市民になつて